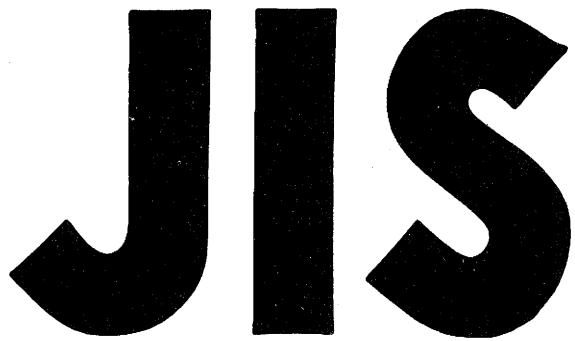


UDC 577 : 001.4



K 3610

## 生体工学用語（生体化学部門）

JIS K 3610-1992

(2002 確認)

(2006 確認)

平成 4 年 11 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

---

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成 4.11.1

官 報 公 示：平成 4.11.10

原案作成協力者：財団法人 日本規格協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 化学分析部会（部会長 鈴木 周一）

この規格についての意見 又は 質問は、工業技術院標準部繊維化学規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 生体工学用語（生体化学部門）

K 3610-1992

Technical terms for biological engineering (biochemistry)

**1. 適用範囲** この規格は、生体工学分野で用いる用語のうち、生体化学部門で用いる主な用語について規定する。

**2. 分類** 用語は、次のとおり分類する。

## (1) 細胞工学

- (1.1) 基礎・共通事項
- (1.2) 遺伝情報
- (1.3) 動物細胞
- (1.4) 植物細胞
- (1.5) 微生物
- (1.6) 操作、手法及び技術

## (2) たん白質工学

- (2.1) 基礎事項
- (2.2) たん白質の合成、修飾及び分解
- (2.3) たん白質の構造、状態及び物性
- (2.4) たん白質及びその集合体の機能
- (2.5) 実験技術及び実験装置など（たん白質工学）

## (3) 生体反応工学

- (3.1) 基礎・共通事項
- (3.2) 微生物工学
- (3.3) 酵素工学
- (3.4) 培養工学
- (3.5) バイオリアクター
- (3.6) 環境保全
- (3.7) 操作、手法及び技術

**3. 用語及び定義** 用語及び定義は、次のとおりとする。

なお、参考のために対応英語を示す。

## (1) 細胞工学

## (1.1) 基礎・共通事項

番号	用語	定義	対応英語（参考）
1101	アイソシゾマー	異なる菌株から単離され、認識塩基配列が互いに同じ制限酵素。 備考 イン制限酵素ともいう。	isoschizomer